みてみよう！ くふうしよう！ ちょうせんしよう！

キンダーブック がくしゅうおおぞら 8月号

みてみよう！ くふうしよう！ ちょうせんしよう！

表紙の絵から

今月は「むし」の街です。地上では虫の相撲大会が開かれていたり、ばったバスが走ったりしていますね。地面の下には別の空間が広がっています。地下鉄がどこにつながっているかや、レストランではどんなメニューがあるかなど、想像して楽しんでみてください。

ふしぎが いっぱい！ かい

みてみよう！ かんきょう 身のまわりのしくみや不思議を知ろう

ねらい 貝の生態について知り、興味や関心につなげましょう。

砂浜では、いろいろな大きさや模様の貝殻が見つけられることを伝え、知っている貝や拾ったことがある貝について問いかけてからページをめくりましょう。貝殻の形に注目したり、貝殻からからだが出てくるようすを観察したりして、貝について理解を深められるとよいですね。

貝殻が成長することや、模様や色の多様性について伝えましょう。また、貝の加工品をきっかけにして、内側が七色に光る貝があることや、からだの中で真珠ができる不思議に注目してもよいですね。貝から身近な物が作られていることにも気づかせ、興味をもてるようにしましょう。

おかしな すいぞくかん

ちょうせんしよう！ ことば ことばや文字に親しみ、国語の基礎を学ぼう

ねらい ことばのなかに隠れている別のことばを見つけ、ことば遊びを楽しみましょう。

つかい方のヒント ユーモラスに変化する絵を見ながら、ことばのなかに隠れている生き物を探して、身近なことばへの興味を高めましょう。日本語のつくりのおもしろさに気づくきっかけになるとよいですね。

あんぜんに あそぼう

くふうしよう！ しゃかいせいかつ 小学校生活につながる社会性を身につけよう

ねらい 外で遊ぶときの約束を再確認し、防犯意識を高めましょう。

つかい方のヒント 公園で遊んでいるときだけでなく、屋内で過ごすときなど、いろいろな場面を設定して気をつける点を考えてみましょう。子どもたちの体験したことを聞いたり、どうすればよいのか話し合ったりすることで身近に意識するきっかけにします。

「がくしゅうおおぞら」を保育にご活用ください！

かずコーナーは7月号の足し算に続き引き算です！

絵本をつかった 指導計画の文例

コーナー	子どもが経験すること	保育者の配慮	5領域	10の姿
みてみよう！ かんきょう 身のまわりのしくみや不思議を知ろう 「ふしぎがいっぱい！かい」	●貝の生態について知る。 ●あさりがどんなふうに動くのか観察する。 ●貝の加工品について知る。	●貝殻にはいろいろな形や大きさ、模様があることを伝え、貝の生態について興味、関心につなげる。 ●あさりを観察することで、貝殻でからだを守っていることや足をつかって動くことに気づけるようにする。 ●貝殻からアクセサリーや楽器が作られること、貝の中で真珠ができることを伝え、貝への興味につなげる。	環境 言葉	●思考力の芽生え ●自然との関わり・生命尊重
くふうしよう！ しゃかいせいかつ 小学校生活につながる社会性を身につけよう 「あんぜんにあそぼう」	●防犯意識を高める。 ●屋外で遊ぶときの約束ごとについて確認する。	●安全に遊ぶためにはどうしたらよいか考えることで防犯意識をもてるようにする。 ●約束ごとを再確認することで、どんなところに危険があるのか意識できるようにする。 ●ほかにどんなことに気をつけたらよいか話し合い、知識につなげる。	環境 表現	●思考力の芽生え ●言葉による伝え合い ●自立心